

# News

## 広島県農地中間管理機構

### 【平成 30 年度第 3 回コーディネータ戦略会議開催】

### 現場活動の強化に向けて議論

平成 30 年 12 月 4 日 (火) と 5 日 (水) の 2 日間、平成 30 年度第 3 回地域駐在コーディネータ戦略会議を開催し、現場での戦略的な活動に向けて意見交換と現地視察を行いました。

(出席状況：コーディネータ 17 名、評価委員 3 名、市町担当者 12 名)



【会議の様子】



【意見交換の様子】

### 【4 つのテーマで意見交換】

#### ① 担い手同士の連携

担い手がいる地域を担当するコーディネータで意見を出し合いました。担い手同士が話し合うことで経営の効率化や農地の保全につながることを共有でき、全ての担い手に話し合いへの参加を働きかけることが大切であることを確認しました。

#### ② 担い手不在地域への対策

担い手不在の地域を担当するコーディネータで意見を出し合いました。条件が不利な農地は担い手のニーズに合わないという共通認識のもと、まずは地域で将来方向を話し合うこと、その中で「守るべき農地」を定めて担い手を呼び込む等の対応策が議論されました。

#### ③ 新たな担い手の確保

他業種や地域外から参入した担い手に係わるコーディネータで意見を出し合いました。地域外から参入する担い手は地域との調和が重要で、そのためには受け入れる地域の状況を関係者が共有しておく必要があります。地域に精通した農業委員や農地利用最適化推進委員との連携を進めていくことを確認しました。

#### ④ コーディネータの役割と事務処理上の課題

コーディネータがいる市町の担当者で意見を出し合いました。コーディネータ活動への期待として、担い手ニーズに合った農地確保や人・農地プランの話し合い推進が共通して出され、農地相談等の農業委員会の業務との住み分け等の課題が指摘されました。また、市町で状況が異なる中、情報共有の場の必要性が確認されました。

### 本多コーディネータが全国表彰を受賞しました

平成 30 年度全国優良経営体表彰の担い手づくり部門 (農地) において、安芸高田市担当コーディネータの本多一雄さんが全国担い手育成総合支援協議会長賞を受賞し、11 月 8 日に山形市で行われた表彰式に出席しました。本多さんは地元安芸高田市原田地区において、人・農地プランを大字単位で 1 本化し、担い手同士の分散錯圖の解消と併せて担い手の法人化に取り組んだことが評価され受賞につながりました。この事例は当機構の事例集と国のホームページに掲載されています。



機構HP：<https://hsnz.jp/kikou/shiryu.php>

農水省HP：<http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/kikou/>

### 【(株) ルンビニ農園を視察】

2 日目は広島市安佐南区の(株)ルンビニ農園を訪問し、今田代表取締役から経営概要の説明と今後の展望等についてお話を伺いました。平成 19 年に広島市の制度を活用して就農された今田さんは、平成 27 年の法人化の際に農地中間管理事業を活用し、今後も規模拡大を計画するなど意欲的に取り組まれています。

地域と良い関係を築くために「景観」・「環境」・「文化」を意識した「まちづくり」の観点が必要と話され、農業だけでなく地域での人材育成の必要性を指摘されたのが印象的でした。



### 【今後の活動に向けて】

普段は単独で活動することが多いコーディネータですが、意見交換を行うことでお互いに良い刺激となりました。また、評価委員からも、現場の実態がよく理解できたとの声をいただきました。

コーディネータの存在があまり知られていないとの指摘もありますので、PRして行くとともに、担い手ニーズの把握や地域の話し合いへの参画等に積極的に取り組んでいきます。

### 7 月の豪雨等で被災された借受者の皆様へ

7 月の豪雨災害で被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。農地の被災等によって作付けができないなど、収益が見込めない場合は借地料の減額を申請することができます。

また、復旧が見込めないなど解約せざるを得ないことも想定されます。このような手続についてご要望がありましたら、お早めに当財団までお問い合わせください。

相談の窓口：事業推進課 手続きの窓口：農地管理課

TEL (共通) 082-541-6192